

金沢型学校教育モデル

新しい金沢の教育が始まります！



平成28年

4月から

金沢市教育委員会

金沢型学校教育モデルとは…

金沢市では、平成27年1月に「**金沢市学校教育振興基本計画**」を策定しました。この計画の基本理念やめざすべき金沢の子ども像の実現に向けて、取り組むべき施策の考え方を重点化・焦点化し、知・徳・体の調和のとれた子どもの育成や金沢への愛着と誇りが持てる教育を推進していくことが大切であると考え、平成27年7月に新たな学校教育モデルを構築し、高い教育水準の確立をめざすこととしました。

金沢型学校教育モデルは、子ども達が何を学ぶかという内容として「**金沢型学習プログラム**」、どのように学ぶかという方法として「**金沢型学習スタイル**」、それらを支える学びの土台として「**金沢型小中一貫教育**」の3つの要素で構成されます。

金沢型学校教育モデルに基づく教育活動は、平成28年4月からスタートします。



金沢市学校教育振興基本計画

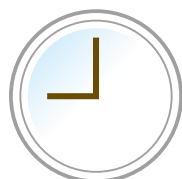
基本理念

明日を拓き
社会を担う
金沢発のひとづくり
～「心」と「力」を
育む学校教育～

めざすべき金沢の子ども像

- 1 自ら学び、自ら考え、創造する子
- 2 正しく判断し、責任を持って行動する子
- 3 自他ともに認めあい、お互いを高めあう子
- 4 心身ともに健康で、たくましく生きぬく子
- 5 夢を抱き、何事にも粘り強く挑戦する子
- 6 金沢に誇りを持ち、ふるさとを愛する子

めざすべき金沢の子ども像の実現に向けて、
取り組むべき施策の考え方を重点化・焦点化



金沢型学校教育モデルの実践により、
めざすべき金沢の子ども像を実現

金沢型学校教育モデル

何を学ぶか 内容

金沢型学習プログラム

金沢
ベーシック
カリキュラム

金沢
ふるさと学習

金沢
「絆」活動

どのように学ぶか 方法

金沢型学習スタイル

自分で みんなで 考える
金沢型学習スタイル

学びの土台

金沢型小中一貫教育

理解・協力・連携

家庭・地域

子ども達の学ぶ内容を示した

金沢型学習プログラム

小・中学校において基準となる学習内容を明確にすることにより、知・徳・体の調和のとれた子ども達の育成や金沢への愛着と誇りが持てる教育を推進します。

金沢ベーシックカリキュラム

「金沢ベーシックカリキュラム」は、全小・中学校の基準となる知・徳・体の調和のとれた特色ある教育課程です。各教科の教育課程に加え、道徳教育、人権教育、健康教育等の年間指導計画例も示します。

各学校においては、「金沢ベーシックカリキュラム」を基準として、子ども達の実態や地域の特色等を踏まえ、これに各学校の特色ある学習内容を加え、学校独自の教育課程を編成します。

各教科の教育課程



道徳

人権

健康

金沢ふるさと学習

「金沢ふるさと学習」は、金沢のもつ伝統や文化、自然、歴史、食などの多様な素材や人材を活用し、金沢について学び、考え、かかわり、広めることを通して、金沢のまちに愛着と誇りをもち、まちづくりの担い手を育むことをめざす学習です。これまで「金沢『学びタイム』」として実施してきた内容を、新たな都市像「世界の『交流拠点都市金沢』をめざして」やキャリア教育、持続可能な開発のための教育の視点も取り入れながら策定しました。

● 学年テーマ一覧

小学校	1年	金沢に伝わる遊び
	2年	金沢に伝わる民話
	3年	人がつながるまち金沢
	4年	伝統が息づくまち金沢
	5年	環境にやさしいまち金沢
	6年	未来に向かうまち金沢
中学校	1年	金沢の歴史と伝統
	2年	金沢のものづくりと景観
	3年	世界の交流拠点都市金沢をめざして これからの金沢のまちづくり

金沢「絆」活動

金沢「絆」会議

市立中学校生徒会代表生徒が一堂に会し、「金沢子どもかがやき宣言」に基づいたテーマについて、自分達にできる取組を話し合います。会議には、小学校代表児童も参加します。



金沢「絆」プロジェクト

「金沢「絆」会議」で決まったことをもとに、全ての小・中学校において、自分達にできる取組を具体化し、児童会・生徒会が中心となって主体的な活動を展開します。



金沢「絆」の日

7月28日を「金沢「絆」の日」とし、児童会・生徒会が中心となり、保護者・地域とも連携しながら、人と人とのつながりを大切に活動を実施します。



子ども達の学ぶ方法を示した

金沢型学習スタイル

小・中学校において基本となる学習方法や指導方法を明確にすることにより、子ども達に必要な資質・能力を育成します。

《自分で みんなで考える》金沢型学習スタイル

つかむ

学習のめあてをつかみます

前の学習と比べたり、疑問を見つけたり、学習の見通しをもったりします。



聞く

話す

書く

考える

自分で考えます

自分の考えを書きます。わけもはっきりさせます。



自分の考えを伝え合います

分かりやすく伝えます。大事なことを聞き取ります。自分の考えと比べながら聞きます。



みんなで考えを深めます

みんなの考えを比べたり、整理したりします。自分の考えを見直します。



書いたり説明したりすることや
みんなで話し合うことを大切にします

まとめる

「わかった」「できた」をまとめます

学習のめあてについて考えをまとめたり、学んだことを振り返ったりします。「わかった」「できた」を確かめます。



学習の構えをそろえます

学習用具を準備します。
チャイムと同時に始めます。
あいさつで気持ちを切り替えます。



家庭学習もがんばります

学んだことを確かめたり、次の学習の見通しをもったりします。
くり返し、身につくまで勉強します。
時間を決めて勉強します。



・すすんで学び、考えます ・きまりや約束を守ります ・思いやりの心を大切にします

「金沢子どもかがやき宣言」より

子ども達の「学びの土台」となる

金沢型小中一貫教育

小中連携をさらに充実・発展させ、9年間を見通した連続性のある教育活動を展開することにより、子ども達の「学び」と「育ち」をつなげます。

全ての中学校区において行う 共通の取組

基本計画の作成

全ての中学校区で基本計画を作成し、5つの取組を行います。



推進体制の構築

校区の実情や子ども達の実態に応じた小中一貫教育を推進するため、全教職員による推進体制を構築します。

児童生徒の交流

小学生が中学生に憧れや親近感を持ち、中学生が小学生に頼られることで自己有用感を高めることができるような交流活動を実施します。

教員相互の授業参観

中学校区内の小・中学校が相互に授業を参観する機会を計画的に設定し、それぞれのよさを生かした授業改善を推進します。

学習の関連を明記した教育課程

小学校の教育課程には「中学校との関連」を、中学校の教育課程には「小学校との関連」を明記した教育課程を作成します。

情報発信

小中一貫教育の取組を学校だより、校内掲示板、スクールフォーラム等で家庭や地域に発信します。



中学生による小学生への本の読み聞かせ(児童生徒の交流)



中学校の授業を小・中学校の教員が参観(教員相互の授業参観)



小中一貫教育の掲示板で中学校区の取組を発信(情報発信)



それぞれの中学校区において行う 特色ある取組



私の校区では、防災活動や演劇発表会で、小・中学校の子ども達が交流しています。



私の校区では、ノーテレビ・ノーゲームデーや家庭学習の取組を進めています。



各中学校区の子どもの実態や地域の特色等を踏まえた取組も進めます。



「金沢型小中一貫教育」を学びの土台として位置づけ、各学校が小中一貫教育の推進体制を強化することによって、金沢型学校教育モデルに基づく教育活動を効果的に進めることができます。



金沢型学校教育モデルの実践に期待すること

金沢市教育委員長



田邊 俊治

未来に向かって「すすんで学び、考える」子ども達には、「どうしてなんだろう」と問う知的好奇心や「どうすればよいのだろう」と工夫する探求心が備わっています。伝統に培われたまちの個性をふまえた、金沢での新たな学びへの創造を期待します。



新学校教育金沢モデル構築会議委員長より教育委員長に答申書を提出(H27.6.19)

新学校教育金沢モデル構築会議委員長



大谷 実

知・徳・体の調和のとれた子どもの育成や、金沢への愛着と誇りが持てる教育を推進するために、学校・保護者・地域関係者が検討を重ね、特色ある教育内容・方法・環境を重点・焦点化し、新しい金沢型学校教育モデルがつけられました。金沢発のひとづくりを期待します。

金沢市学校教育振興基本計画に掲げる「めざすべき金沢の子ども像」をわかりやすく、覚えやすい言葉で表現するため、市内の中学生によるプロジェクト活動により、子ども達の考え方や行動の基本的な約束事「金沢子どもかがやき宣言」を制作しました。



金沢子どもかがやき宣言

- 一 すすんで学び、考えます
- 二 きまりや約束を守ります
- 三 すすんであいさつをします
- 四 笑顔を大切にします
- 五 思いやりの心を大切にします
- 六 ありがとうの気持ち伝えます
- 七 毎日元気にすごします
- 八 夢に向かって挑戦します

わたしたちは、
ふるとと金沢を愛し、誇りを持ち、
未来に向かってかがやくよう行動します

●お問い合わせ先



金沢市教育委員会
学校指導課

〒920-8577 金沢市広坂1-1-1

TEL : 076-220-2449 FAX : 076-223-4602

E-mail : gakkou_k@city.kanazawa.lg.jp

平成28年1月発行